

## ◆【全国発信記事】九州関門地方支部

### 熊本県立天草拓心高等学校で、進路ガイダンス

天草拓心高等学校マリン校舎は天草郡苓北町にあり、平成27年4月に天草地区の総合高校3校が再編統合され、マリン校舎と本渡校舎の2つの校舎をもつ天草拓心高等学校となった。

#### 基本理念

校訓「夢は空より高く、心は海より広く、道を拓かん」

熊本の心「助けあい、励ましあい、志高く」

天草市にある本渡校舎には「普通科」「商業科」「生物生産科」「食品科学科」「生活科学科」の5学科があり、苓北町のマリン校舎には「普通科総合コース（普通科類型・情報ビジネス類型）」「海洋科学科（海洋航海コース・栽培食品コース）」の2学科が設置されている。

海洋航海コースでは、大型実習船「熊本丸」での航海実習が組み込まれており、海上経験が豊富な指導教官から実践的な指導を受けることで将来の船乗りを養成している。

また、令和2年度以降の入学生を対象に四級海技士（航海）の認定校となり、今後の海運・水産業の担い手を育むことが期待されている。

#### 船員職業の進路ガイダンス

九州関門地方支部は、2月5日、この熊本県立天草拓心高等学校マリン校舎において開催された、進路ガイダンスに参画し、海洋科学科海洋航海コースで学び、将来は商船や漁船の船舶職員を目指す1年生と2年生の30人に、講話形式で船員職業の魅力を伝えた。はじめに、全日本海員組合を紹介し、船と船員の担う役割、船員職業の厳しさや魅力について、体験談を交えながら説明した。

さらに、内航船員数の推移や年齢構成の実態を示し、船員の高齢化や後継者不足が深刻な課題となっている現状を踏まえ、この進路ガイダンスに集う生徒全員が船舶職員になりたいという志を最後まで抱き、次世代の海運・水産業を担ってほしいと伝えた。

進路ガイダンスの中で生徒からは

- ▼乗船中に身の危険を感じた経験はあるか
- ▼女性が就職活動をする際、外航船と内航船ではどちらの方が就職しやすいか
- ▼乗船中に一番おいしいと感じた食事はなにか
- ▼結婚はできるのか

一などの幅広い質問があり、講師の体験をもとにアドバイスとポイントを披露した。

九州関門地方支部は、引き続き教育機関と連携を図りながら船員職業の認知度を向上させ、一人でも多くの若者が船員職業を目指してくれるよう活動を展開していく。

「海員だより」